

雲南市立鍋山小学校 心に残る文化財子ども塾

7月9日(火)、雲南市立鍋山小学校6年生のみなさんと『心に残る文化財子ども塾』を行いました。まず中世から近世初めの三刀屋地域の歴史、戦国時代の城郭の基本的な構造と三刀屋(尾崎)城のみどころ、縄張図の読み方などについて説明しました。その後実際に山城を歩き、石垣や土塁などの防御力、重機のない時代にこれだけのものを作り上げた技術力・経済力を実感し、改めて地域の歴史への思いを強くしてもらいました。

【活動の様子】



①歴史と戦国時代のお城についての説明。

②城跡に残る石垣を見学しています。



③縄張図を見ながら現在地を確認しています。④土塁や石垣など、防御の工夫がよくわかります。

【学習後の感想】

- 城のあった所などくわしくおしえてもらい、いままでしらなかったことがわかった。
- 三刀屋氏はいろいろな戦いに出ているので、それほど力を持っていたんだなあと思いました。
- 土塁の仕組みがすごかった。 ●石がきのつみかたがわかった。

鍋山小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました。